八王子市
HACHIOJI CITY
ニュースリリース

令和8年（２０２６年）9月24日
建設部
道路計画課長　小谷田
０４２－６２０－７２７２

橋上の華麗な意匠を誇る貴重な構造物

「長池見附橋」が選奨土木遺産に認定

長池見附橋(別所)は、大正２年(1913 年)に築造された四谷見附橋を、平成５年(1993 年)に移設・復元した歴史的・技術的価値の高い橋梁です。

現在、長池公園を横断する市道由木 611 号線に架かるこの橋梁が、この度、公益社団法人 土木学会が選定する令和8年度の「選奨土木遺産」に認定されました。

※写真提供可

1 長池見附橋の概要

名　　称：長池見附橋(旧橋名称：四谷見附橋)
所 在 地：東京都八王子市別所2丁目　長池公園
設 計 者：川地陽一 、意匠設計：田島稽造・福田重義
完 成 年：四谷見附橋 1913(大正2)年
（経緯）　長池見附橋 1993(平成5)年〈移設・復元〉
形　　式：橋長＝37.6m　幅員(道路部)＝17.4m

【移設・復元の経緯】
四谷見附橋は、新宿通りの拡幅に伴い昭和 49 年に架け替えが決定しました。しかし、その歴史的価値や優れた橋梁技術から保存を求める声が高まり、東京都が土木学会に調査を委託した結果、文化財として高い価値を有することが確認され、保存方法の検討が進められました。
その後、昭和 63 年に東京都、住宅・都市整備公団(現・UR 都市機構)、本市の三者が移設・復元に合意し、現在の長池公園への移設が決定しました。

2 土木学会選奨土木遺産とは

土木遺産の顕彰を通じ歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成 12 年に認定制度を設立したものです。
（詳細は土木学会のホームページへ　https://www.jsce.or.jp/contents/isan）

市長コメント

市民の憩いの場のみならず、様々なイベントの場としても市内外の多くの方々に活用されている長池見附橋が、選奨土木遺産に認定され、大変名誉なことと受け止めています。
今後も、市民の皆様をはじめ関係者の皆様とともに、この貴重な土木遺産を守り活用し、その魅力を広く発信しながら、次世代へ継承してまいります。